

《史料保存機関を訪ねて》

⑥ 太子町立歴史資料館

太子町立歴史資料館は、新しい町づくりや文化を、聖徳太子ゆかりの歴史や文化を通して考える施設として、平成五年十一月に文化会館と共に開館し、既存の図書館と合わせ、町の文化ゾーンを形作っています。ここでは、太子町史編集の過程で収集された資料をはじめ、地域の資料を収集、保存、展示、調査研究しています。

太子町は兵庫県南西部に位置し、揖保郡に属しています。推古天皇が聖徳太子の講經に感じて布施した、播磨国佐西地五十万代に始まる鶴庄は、天正八年に羽柴秀吉が播磨国を平定するまで、千年近く法隆寺領として続きました。このため田地には条里制遺構が残り、お幡入れ・法伝哉という、農耕儀礼の田楽や民衆仏教の念仏踊りと太子信仰が習合した他の地域にはない独特な祭礼が残されています。聖徳太子にゆかりのある多くの伝承を残す、古代から独自の文化を発展させてきた地域でした。

収蔵資料は、太子町に関する出土品、古文書、民俗資料、写真などで、一般に公開されています。

入口の八角堂と展示室の二棟からなる施設であり、八角堂を入ると、「太子の四季」「太子町歴史絵巻」と、現在から過去へのタイムスロープが展示室へといざないます。

常設展示では、太子町の原始・古代から近現代までの歴史を、「大地に記された暮らし」「法隆寺領鶴庄と斑鳩寺」「水をめぐる争い」「山陽道鶴宿」「藩政と領村」「播電の盛衰」等のテーマにまとめています。

これらの常設展示のほか、年に数回企画展を開催されています。企画展では、修復した貴重な文化財の展示や太子町の民俗行事を取り上げ、ふるさとの歴史や文化を展示物を通じて紹介されています。

受付では、太子町立歴史資料館常設展示案内や各企画

展の展示図録をはじめ、郷土の資料集、太子町史、太子町教育委員会出版物を陳列・販売しています。

一般への普及事業として、月に一回成人向けに歴史講座を開催されています。企画展に関するセミナーや、太



子町に限らない幅広いテーマのセミナーを実施しているほか、各地の文化財や博物館めぐりをされています。

また現地見学会を実施し、昔の絵図に描かれた山陽道や鶴庄を、実際に歩いて体験していただいています。

こういった成人向けの歴史講座以外にも、小・中学生を対象とした歴史探検隊を年に数回実施しており、各地区の文化財めぐりをして、太子町の魅力を伝えていきます。

太子町立歴史資料館の、このような多彩な活動を支えているのは、地元住民の方々の郷土への思いでしょう。太子町には歴史資料館友の会があり、太子町立歴史資料館の活動に参加・協力しながら、地域の歴史や文化を調べ、学習されています。

太子町立歴史資料館には付属施設として、民俗資料館もあります。太子山のふもとにある太子山公園の一角に福地の民家を移築したもので、主屋は江戸時代の文久年間に建築されたものです。館内には、地域の皆さんから提供いただいた日用品・食生活用具等約二百点を展示しています。

民俗資料館の西隣には第二展示館があり、館内には農業生産用具・日用品・医療用具・駕籠などを收藏、展示しています。

斑鳩寺を訪れたあとは、少し足を延ばして太子町立歴史資料館にもお越しください。

所在地：〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鶴1310-1

電話：079-277-5100

開館時間：10:00～18:00（入館は17:30まで）

休館日：火曜日、祝日の翌日、年末年始等

入館料：無料（常設展示のみ。企画展開催中は別途定める。）

ホームページアドレス：太子町のサイト
(<http://www.town.taishi.hyogo.jp/>)の左に表示されるメニューから、「施設ガイド」→「歴史資料館」と順番にクリックしてください。

